

ハウス・トンネル栽培による4月採りブロッコリーの 適品種の選定と摘芯による2花蕾採り法							
【要約】 4月にM級以上の大きさのブロッコリー花蕾を採るには、中生品種の「ハイツ」か「エルデ」をハウス栽培するのが良い。「ハイツ」はトンネル栽培でもM級以上の花蕾が収穫できる。「ハイツ」を用いたハウス栽培では、定植後に摘芯して側花蕾を2つにすると、M～L級の花蕾が揃って収穫でき、収量も2～3割増加する。							
園芸研究所・野菜花き部・野菜品種研究室					連絡先	092-922-4111	
部会名	園 芸	専 門	栽 培	対 象	花 菜 類	分 類	普 及

【背景・ねらい】

4月に収穫するM級以上のブロッコリーは高価格であるが、低温期を経過する作型であるために、露地栽培では年による収穫期と花蕾の大きさの変動が大きく、4月の花蕾生産は安定しない。そのため、4月にM級以上の花蕾を安定的に収穫できる適品種と栽培法を明らかにする。

【成果の内容・特徴】

- ① 4月に安定的にM級以上の花蕾を収穫できる品種としては、中生品種の「ハイツ」か「エルデ」が適しており、いずれもハウス栽培するのが良い。また、「ハイツ」はトンネル栽培でもM級以上の花蕾が収穫できる（表1）。
- ② 「ハイツ」を用いたハウス栽培では、定植後の5～7葉期に摘芯し、その後大きな側花蕾2つにする「2花蕾採り栽培」を行うと、M～L級の花蕾が比較的揃って収穫できる（表2、図1）。

【成果の活用面・留意点】

- ① レタスや雨除けの果菜類と組み合わせたハウス栽培の「2花蕾採り」により、経営の安定が図られる。
- ② 摘芯栽培すると収穫期が7日前後遅れることと、品種によっては花蕾が小さく、収穫時期と花蕾の大きさのバラツキが大きいため、「ハイツ」以外では摘芯栽培は行わない。

[具体的データ]

表1 ハウス及びトンネル栽培における品種別の収量と品種 (平成4年)

栽培法	品種名	収穫期間		収穫最盛期 月日	平均花蕾重 g	花蕾の径 cm	花蕾の形	小花の大きさ	花蕾の色	備考
		月日	月日							
ハウス	ハイ ツ	4,10	4,24	4,17	288±22.4	13.2±1.7	5	小	4	花蕾が大きい
	エル デ	4,12	4,24	4,17	276±18.8	11.4±1.2	4	中	4	やや偏平な花蕾
	N 8 5	4,23	5, 2	4,23	228±30.2	11.5±1.4	4	小	4	ドーム状の花蕾
	シャレード	4,28	5,15	5, 8	186±31.0	9.5±1.5	3	小	4	側花蕾兼用
トンネル	ハイ ツ	4,12	4,27	4,20	200±18.7	11.0±0.8	-	-	-	
	シャレード	5, 4	5,15	5,11	129±23.8	8.4±0.9	-	-	-	

注) ①11月20日播種・1月20日定植
 ②花蕾の形: 5 (良) ~ 1 (劣) . ③小花の大きさ: 大・中・小. ④花蕾の色: 5 (濃) ~ 1 (淡) .

表2 ハウス栽培における摘芯による2花蕾採りの品種別収量 (平成4年)

品種名	栽培法	摘芯	収穫期間		収穫最盛期 月日	花蕾の径 cm	平均花蕾重 g	収量 (/10a) t
			月日	月日				
ハイ ツ	無	摘 芯	4,10	4,24	4,17	13.2±1.7	288±22.4	1.01
		摘 芯・2花蕾	4,17	5, 2	4,23	10.7±1.3	174±20.2	1.22
N 8 5	無	摘 芯	4,23	5, 2	4,23	11.5±1.4	228±30.2	0.80
		摘 芯・2花蕾	4,25	5,12	5, 1	9.4±1.7	160±35.1	1.12
エル デ	無	摘 芯	4,12	4,24	4,17	11.4±1.2	276±18.8	0.97
		摘 芯・2花蕾	4,20	5, 8	4,25	9.7±1.7	154±21.6	1.08

注) ①11月20日播種, 1月20日定植, 2月27日摘芯
 ②花蕾の規格 2L:花蕾の径12~14cm, L:11~12cm, M:10~11cm
 S: 8~10cm, 2S: 8cm以下

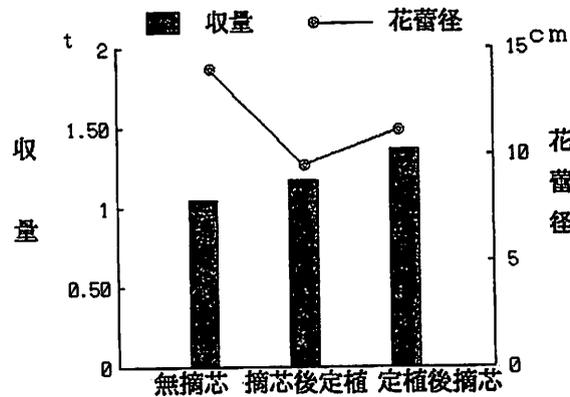


図1 摘芯の方法と収量及び花蕾径(平成3年)
 注)品種はハイ ツ。収量は10a 当たり。

[その他]

研究課題名: ブロッコリーの9月及び4月採り作型の開発

予算区分: 経常

研究期間: 平成4年度 (平成2~4年)

研究担当者: 林 三徳、伏原 肇、柴戸靖志

発表論文等: 平成2~4年度園芸研究所野菜花き部野菜品種研究室試験成績書